

2-5 インターネットを通じた情報の共有

2-5-1 アジア防災センターのウェブサイト

アジア防災センターでは、図2-5-1-1のように、「最新災害情報」、「多国語防災用語集」、「防災トレーニング情報」、「防災人材情報ネットワーク」、「(防災関係) 会議・学会等御案内」、「メンバー国及びアドバイザー国の防災情報」、「ニュースレター」、「メンバー国レポート」、「NGO アジア防災・災害救援ネットワーク (ADRRN)」、「(防災関連) 文献データベース」、「阪神・淡路大震災データベース」、「災害情報センターデータベース」の13の防災情報データベースを構築しています (URL <http://www.adrc.or.jp/>)。

また、防災インターネット GIS である「VENTEN」を公開 (URL <http://venten.adrc.or.jp/>)、さらにはセンチネルアジアプロジェクトとして災害管理サポートシステムを公開 (URL <http://arrs.adrc.or.jp/adrc/MyMap/adrc/index.jsp>) しています。

また、国連国際防災戦略 (ISDR) の紹介を行っており、さらに世界中で発生する災害の統一番号である GLIDE (GLobal disaster unique IDentifier number) の検索とオンライン登録を実施しています。災害情報生成・検索サイト「GLIDENumber.net」 (URL <http://glidenum.net/>) の本格運用を2004年5月から開始しています。

図2-5-1-2に示すように、これらの防災情報はそれぞれデータベースの形で情報を蓄積しており、インターネットを介してリクエストがあると、そのデータベースから情報を取り出し、どのような色やレイアウトでユーザーに見せるかを記したインストラクション (教示書) を参考にしながら、ユーザー

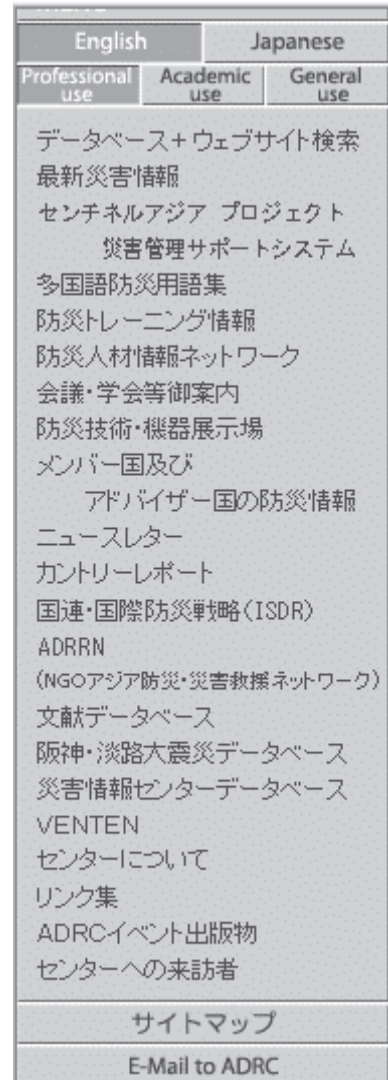


図2-5-1-1 ADRC の WebMenu

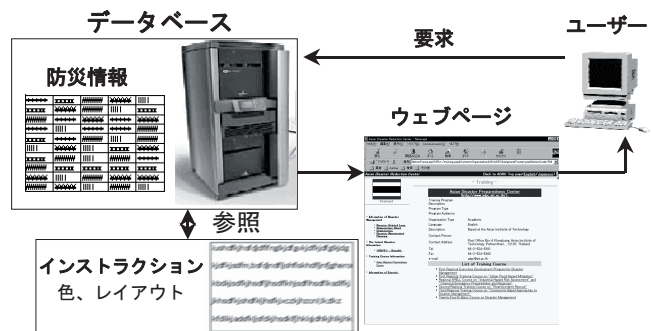


図2-5-1-2 データベース連動型 Web

へハイパーテキストの形式の情報を伝えています。情報そのものをデータベースに、レイアウト等をインストラクションにそれぞれ独立させておくことで、データ管理者をレイアウト設定の煩雑な作業から解放し、かつユーザーのニーズや技術革新の進歩に応じてレイアウトを一括して自由に変更することもできます。また、このようにデータベース管理とすることで、情報のカテゴリー別、国別の2種の扉をユーザーに対して用意することができ、情報へのアクセスを容易にするためのディレクトリを提供することが可能になっています。

ここでは一例として、最新災害情報について解説を行います。これは、現在起きつつある災害に関する情報を、できるだけ早く集めて発信するものであり、国連やメディアによるウェブで発信されているレポートをピックアップし、その要約を作成するとともにオリジナルの情報へリンクを貼っています。図2-5-1-3に示すように、この情報はそれぞれの災害毎のテーブル（表）、レポート毎のテーブルの二つの表によって管理されています。この表に蓄積された情報を基に、ユーザーからのリクエスト（どの災害についてのレポートを表示したいか）に応じて必要な情報が抽出され、教示書のレイアウトに従ってレポートが作成されます。

更新作業は、図2-5-1-4のようにインターネットを介して遠隔地から行うことができます。今では、全てのデータベースについて、一部の機能を除き Web ページ経由で情報更新が可能となり、より正確な情報提供と速やかな情報更新が可能となりました。

最新災害情報のデータ収集及び登録は、センター員及びアルバイトにより運営されており、災害発生から情報収集登録までの時間を短くできるようにしています。2004年12月26日にインドネシアのスマトラ島沖で発生した地震及びインド洋諸国に甚大な被害をもたらした津波が発生した際には、当サイトが Yahoo ニュースから直接リンクされていたため、ADRC の HP に対するアクセスは1時間当たり10万件となりました。

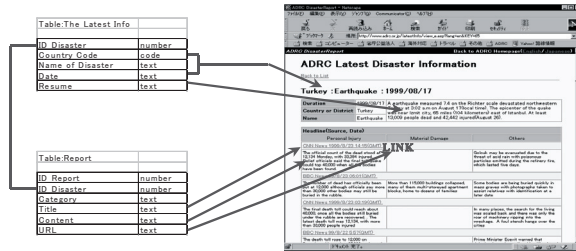


図2-5-1-3 最新災害情報のデータベースと画面のレイアウト

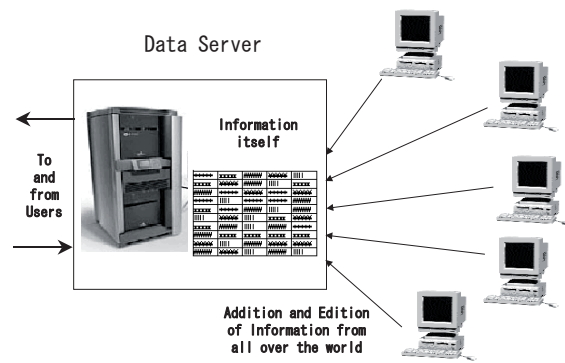


図2-5-1-4 インターネットを利用した遠隔地からの情報更新

ADRC のウェブサイトの利便性を高めるために以下のような対応を行っています。

- ① ユーザーを実務者、研究者、一般に分類しそれぞれが使いやすいメニュー
- ② 通信インフラによって使い分けるために画像主体ページとテキスト主体ページの二重構成
- ③ 英語ページと日本語ページの二重構成
- ④ 上記①～③の条件は閲覧者が任意に選択可能

これを実現させるためにエントリーページを設置してあります（図2-5-1-5参照）。

Welcome to the Asian Disaster Reduction Center(ADRC) web site
--- Entry Page ---

Selection of ADRC website display form			
Language	<input checked="" type="radio"/> English	<input type="radio"/> Japanese	
Display form	<input checked="" type="radio"/> Graphics	<input type="radio"/> Text	
User classification	<input checked="" type="radio"/> Professional use	<input type="radio"/> Academic use	<input type="radio"/> General use
<input type="button" value="ENTER"/>			
DB + WWW search	Select Language	<input checked="" type="radio"/> English	<input type="radio"/> Japanese
Keyword <input type="text"/>		<input type="button" value="SEARCH"/>	

図2-5-1-5 エントリーページ

また、クリックブルマップ¹を活用したページ内の情報の視認性が高いトップページを採用し、最新の災害発生位置を地図で確認できます。さらに、当サイト内の情報量が増大しており必要な情報を容易に入手するために、ADRC 内部及び外部サイトを検索する強力なサーチエンジンを設置しています（図2-5-1-6参照）。

1 クリックブルマップ：Web ブラウザの持つ機能の一つ。画像の中に色々なリンク先を設定しておき、クリックした位置に応じて定められたリンク先に移動する機能。また、その機能を持った画像のこと。1枚の画像の中に複数のリンク先を設定できるため、地図の画像を利用した Web サイトや、Web ページの上部や左部に配置されるメニューなどで利用される。

Asian Disaster Reduction Center

ADRC トップ

MENU

English		Japanese	
Professional Use	Academic Use	General Use	
データベース+ウェブサイト検索			
最新災害情報			
センテントアジア プロジェクト			
災害管理サポートシステム			
多国籍防災用標準			
防災トレーニング情報			
防災人材育成ネットワーク			
会議・学会等国内			
防災技術・情報展示場			
メンバー国及び			
アドマイザー国防災情報			
ニュースレター			
広報リーフレット			
国連国際防災戦略 (ISDR)			
ADRRI			
ASEAN防災協力ネットワーク			
文庫データベース			
阪神・淡路大震災データベース			
災害情報センターデータベース			
VENTEN			
センターについて			
リンク集			
ADRCイベント出版物			
センターへのアクセス			
サイトマップ			
E-Mail to ADRC			



The latest information
The mark in a map is being linked with Topics.

津波被害調査
スリランカでの調査結果

自然災害データベース
2006年災害発生状況

"Inamura no Hi"
Tsunami Awareness

TDRM
Good Practices

ACDR 2006
13-17 March in Seoul

DRP 国際防災
復興協力機構

TOPICS

07/02/19 ■ 2007年2月18日、インドネシアのジャワ島で集中豪雨により2箇所
で洪水が発生し、8人が死亡、6人が行方不明となっている。
[Go to JAXA DMES]

図2-5-1-6 ADRC トップページ

2-5-2 最新災害情報データベース

災害が発生すると、マスメディア、中央・地方政府、国際機関、NGO などさまざまな機関が被災地の被害状況や救援に関する情報を発信します。しかし、こうした情報はそれぞれ個々に発信されているために、必要な情報を集約するためには時間がかかってしまいます。アジア防災センターでは、これらの情報を一覧して入手できるように、ウェブ上で発信されている情報の要約を作成するとともに、オリジナルの情報へのリンクを張った最新災害情報データを公開しています。具体的な提供情報としては、災害概要（発生日、発生地域、概略）、被害概要、関連リンク情報（関連レポート・記事、地図情報、緊急援助関連情報、協力者からの情報、画像データ）に加え、2002年度からはインターネット GIS 防災情報プラットフォーム「VENTEN」を利用した災害発生地の地図情報の提供を行っています。2007年3月末現在、1,042件の災害情報を提供しています。

The screenshot shows a web interface for disaster information. On the left, there is a sidebar with a list of disaster events, each with a date and a brief description (e.g., '2007/02/18 : 洪水'). The main content area on the right displays details for a specific event: 'GLIDE: LS-2007-00028-1DN' and 'インドネシア : 洪水 : 2007/02/18'. Below this, there is a table with columns for '発生国名', '発生地域', and '発生概要'. The table shows 'インドネシア' as the country and '洪水' as the disaster type. Further down, there are sections for '被害概要' (Impact Summary) and '関連リンク情報' (Related Link Information).

発生国名	発生地域	発生概要
インドネシア		2007年2月8日、インドネシアのジャワ島で集中豪雨により2週間ほど洪水が発生し、8人が死亡、8人が行方不明となっている。

図2-5-2 最新災害情報ウェブページ

2-5-3 多国語防災関連用語集

アジア防災センターでは、1990年に始まった国連の「国際防災の十年 (IDNDR)」の活動を通じて編さんされた多言語による防災用語集（日本語、英語、スペイン語、フランス語、中国語）をより広く多くの人々に利用できるようにする目的で、ホームページ上で中国語をのぞく4ヶ国語防災用語集としてデータの提供を行って来ました。

2002年度からは、中国語の用語をデータベース化するとともに、韓国行政自治省国立防災研究所の上級アナリストである Dugkeun Park 氏の協力を得て、韓国語の用語集を編さん、データベース化を実施し、6カ国防災関連用語集としてウェブ上で公開しています。

この用語集には、通常の辞書では見つかりにくい防災関連の専門用語などを中心に約3,200語が収録され、防災に関する数値データや技術資料、研究成果などの共有を深めることに寄与しています。

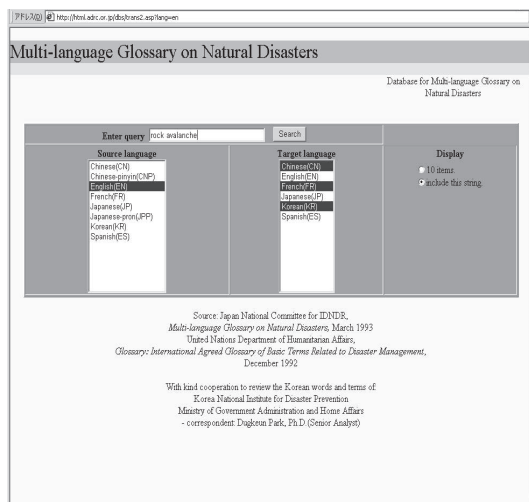


図2-5-3-1 多国語防災関連用語集

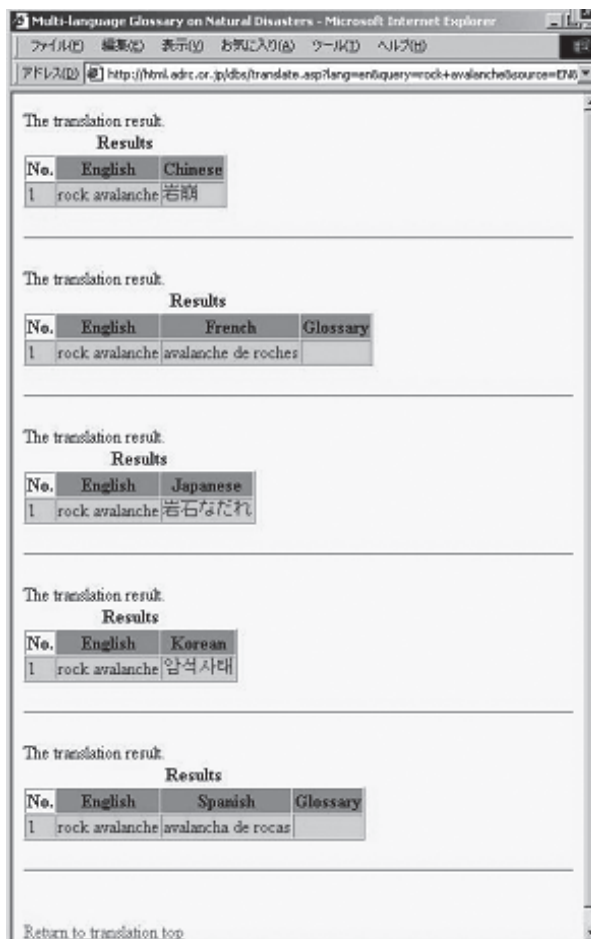


図2-5-3-2 対応する5ヶ国語の翻訳語表示

2-5-4 ニュースレター「ADRC Highlights」の発行

アジア防災センターでは、メンバー各国等との情報共有推進のためのツールのひとつとしてインターネットや電子メールを活用した情報発信を行っているが、その代表的なものが、1999年6月1日より、月2回のペースで発行しているニュースレター「ADRC Highlights」である。ニュースレターは、Web上で公開する一方、Eメールで、ADRCのカウンターパートをはじめ、過去のADRC専門家会議参加者、内外のADRC関係者、ADRCへの来訪者、ADRCが参加した国際会議の他の参加者などに日本語、英語、ロシア語で発信しています。

発信者リストに登録者の推移としては、2007年3月末時点で日本語版781名、英語版1972名、ロシア語版152名となり、前年度末より人数ベースで約400名の増加となりました。

掲載内容としては、ADRCの最新の活動紹介や同スタッフが参加・発表した国際会議等のレポート、さらにADRC外国人客員研究員による国別報告などを取り上げています。ADRCスタッフが国際会議などの場でニュースレターの内容について質問を受けることもたびたびあり、またEメールでのニュースレターの発信直後に反響が返ってくることも多く、情報共有の推進にも役立っていると考えられます。

表2-5-4 平成18年9月～平成19年3月までの発行 ADRC ハイライト記事詳細

号数	発行日	メイン記事	その他の記事
146	9/1	日本 SAARC シンポジウムに参加	インドネシア・ジャワ島南西沖地震・津波へ調査団派遣
147	9/16	10月19日国連大学にて国際防災オープンフォーラム開催	アジア防災センタースタッフ紹介 No. 26 - 渡部 弘之 主任研修員
148	10/1	国際防災オープンフォーラム開催迫る	JICA トルコ災害被害抑制研修（講師）コースを実施 アジア最新災害情報 -ラオス北部での洪水
149	10/16	JICA 中央アジア・コーカサス防災行政コースを実施	アジア最新災害情報 (1) 台風13号（サンサン） (2) 台風15号（シャンセン）
150	11/1	キルギス共和国のための防災研修ツアーを実施	国際防災オープンフォーラムを10月19日に開催
151	11/16	JICA トルコ災害被害抑制研修（市長）コースを実施	ADRC 出版物：『自然災害データブック2005』 アジア最新災害情報 -北海道で竜巻発生
152	12/1	JAXA 及び ADRC が「センチネル・アジア」の運用を開始	お知らせ -アジア航測株式会社・齋藤亮氏国際津波・地震フォーラムの開催 -2007年1月15、16日、兵庫県神戸市で開催
153	12/16	JICA 防災教育研修を実施	国際津波・地震シンポジウム- 2007年1月15日神戸国際会議場で開催

号 数	発行日	メイン記事	その他の記事
154	1/16	新年明けましておめでとうございます	フィリピンとの共同プロジェクトを実施中：GLIDE を利用した災害データベースの構築のためのセミナーを開催
155	2/1	アルメニア国との共同プロジェクトを実施 -シュニツク州カバンで地震防災教育セミナーを開催	スリランカ教員向け防災教育ワークショップを開催
156	2/16	第39回 ESCAP/WMO 台風委員会会合へ参加	ADRC 客員研究員レポート -アルタンチメグ・シャーザン (モンゴル)
157	3/1	国際津波・地震フォーラムー「兵庫行動枠組の進捗状況と津波・地震災害からの復興」、神戸コミュニケを採択	お知らせ：アジア防災会議2007、カザフスタンに於いて開催
158	3/16	グルジアで開催の"アルバトロス2007"会議に ADRC が参加	ADRC 客員研究員レポート -アルン・ピンタ (タイ)